

令和8年4月13日

人吉市議会議長 宮原 将志 様

総務文教委員会委員長 松村 太

「市民と議会の意見交換会」実施報告書

このことについて、「市民と議会の意見交換会」を実施しましたので、人吉市議会「市民と議会の意見交換会」実施要綱第8条第1項の規定により提出します。

開催日時	令和8年3月26日（木）15時00分～17時00分
会 場	ホテルサン人吉2階会議室
出席議員	【委員長】松村 太 【副委員長】豊永 貞夫（記録者） 【委 員】大塚 則男（司会者）、平田 清吉、西 信八郎
団体名	人吉に新図書館をつくる会
参加人数	7名
テーマ	人吉市中心市街地に図書館を中核とした複合施設は必要か？
意見交換会の概要	<p>本意見交換会では、人吉市中心市街地に図書館を中核とした複合施設の必要性について、人吉に新図書館をつくる会と総務文教委員会との間で幅広い意見交換が行われた。</p> <p>人吉に新図書館をつくる会からは、これまで町なかに図書館設置を求める要望を継続してきた経緯を説明され、社会実験の結果、多くの市民がその必要性を認識していることが示された。特に、現在の図書館は中心市街地から離れ、建物の奥に位置するなどアクセス面に課題があり、子供や高齢者にとって利用しづらい状況にあるとの指摘があった。また、運転免許証を返納後の高齢者や通学途中の学生が日常的に利用できるよう、徒歩圏内に立地することの重要性が強調された。</p> <p>さらに、子供の読書環境の観点から、スマートフォンやタブレットの普及により本に触れる機会が減少している現状を踏</p>

まえ、身近に本がある環境づくりの必要性が示されたほか、不登校児童の居場所としての役割や、家庭における蔵書減少を補完する公共施設としての意義についても意見が出された。

まちづくりの視点では、図書館を単なる貸出施設ではなく、人が集まり交流する拠点として位置づけるべきとの意見が多く、中心市街地のにぎわい創出や観光客の回遊促進、地域経済への波及効果が期待されるとの指摘があった。また、資料館や会議室、交流スペース等を併設した複合施設とすることで、多世代が利用できる空間とすべきとの意見も示された。

一方で、施設整備に係る財源確保や維持管理の在り方についても課題として指摘された。また、施設の規模や機能、立地をどのように決定していくのか、基本構想の進め方や市民意見の反映方法について慎重に検討すべきとの意見があった。

総務文教委員会側からは、図書館の必要性については従来から認識しているとの見解が示されるとともに、子供の読書環境の充実や中心市街地のにぎわい創出といった観点から重要な施設であるとの認識が共有された。

一方で、浸水リスクや財源確保、維持管理といった課題については整理が必要であり、拙速な判断ではなく、社会実験の結果や利用状況を踏まえた段階的な検討が必要であるとの意見が示された。

また、図書館整備については単独施設としてではなく、まちづくり施策と一体的に検討し、利用者の動線や生活圏を踏まえた立地や機能の在り方を整理する必要があるとの認識が示された。加えて、先進地事例も参考にしながら、複合施設としての機能や役割について具体的に検討を進めていくべきとの意見が出された。

以上の意見交換を通じて、町なかにおける図書館の必要性については、人吉に新図書館をつくる会と総務文教委員会の双方で認識が一致していることが確認された。一方で、防災面や財源、施設機能、整備手法等については引き続き検討が必要であり、今後は社会実験の成果を踏まえ、市民意見を反映しながら基本構想の具体化に向けた協議を進めていく必要がある。